

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年2月21日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年2月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【陸側遮水壁設備ブライントクの液位低下について】 当直員が、電動弁の開閉試験を行うため、陸側遮水壁全体への冷媒(ブライン)供給停止を行ったところ、ブライントク2基(2A・2B)の液位が低下していることを確認。 調査の結果、ブライン配管送り側(母管)の接続部からの漏えいを確認。 現在、漏えいした箇所の修理を行い、冷媒の供給を再開し陸側遮水壁設備の運転に影響が無いことを確認。</p>	GⅢ	2月15日
2	<p>【使用済燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)冷却水出口サンプリング弁のシート漏えいについて】 当直員が、共用プールの使用済燃料プール冷却浄化系にて、系統点検に伴う排水を行うため、A系及びB系のサンプリングを実施した後に、B系サンプリング弁からのシート漏えいを確認。 現在は、当該弁の上流にある熱交換器(B)冷却水出口サンプリング元弁の全閉により、シート漏えいがないことを確認。 なお、サンプリング弁・サンプリング元弁については、サンプリング実施時以外に「開」操作を実施しないため、使用済燃料プールの冷却機能に影響が無いことを確認。 今後、当該弁の交換を実施。</p>	GⅢ	2月17日